

事務事業評価表

○基礎情報

課名		保健企画課	作成責任者	
	23	あらゆる健康危機から地域住民を守る	榎本 浩二	

常勤職員		常勤職員以外			総従事者
管理職	左記以外	再任用短時間	会計年度任用職員	派遣職員	総人工
1 人	5 人	0 人	0 人	0 人	6 人

時間外勤務時間	
総時間	一人あたり月平均
1,045 時間	17.4 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H30年度	R元年度	R2年度
地域保健・医療の人材育成	平均参加人数 53人/回 開催回数2～3回	平均参加人数 50人/回 開催回数2回	保健衛生研修 の平均参加人数 34人/回 開催回数2回	保健衛生研修 の平均参加人数 41人/回 開催回数2回	視聴回数225回 web形式にて1回 開催
0	0.0%	0			
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	保健所間の連絡体制の充実
2	健康危機管理体制の整備・充実
3	保健、医療に携わる人材の育成
4	0
5	0
6	0

(評価の見方) **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった **A** 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった **B** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める **D** 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない **E** 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) **実績なし** 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和2年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)													Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	R元予算(円) R元決算(円)	R2予算(円) R2決算(円)	何・誰に対して (対象)	どう働きかけた結果 (手段・方法)	どうなったか(生ま れた成果・効果)	事務事業の指標	R2目標値	R2実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止
1	新型インフルエンザ対策事業	2	0.36	一般	812,000 ----- 790,170	599,000 ----- 396,440	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、新型インフルエンザ対応訓練ではなく、実地での対応として、新型インフルエンザ対策会議、対策本部会議を開催し、市の方針を決定した。また、関係機関等と協議のうえ、帰国者接触者外来、受診相談センター等の体制整備や、集合PCR検査の実施等の必要な対策を講じた。			新型インフルエンザ対応訓練の参加・実施	政府合同訓練の参加・市訓練の実施	新型インフルエンザ等対策会議(5回)、対策本部会議(9回)の実施、帰国者接触者相談センターの設置、集団PCR検査の実施、住民接種の検討、医療従事者等優先接種の調整	A	増加		
2	糖尿病地域連携クリティカルパス推進事業	1	0.46	一般	0 ----- 0	0 ----- 0	新型コロナウイルス感染症対応を最優先としたため、令和2年度の推進会議は書面会議にて開催し「湘南糖尿病ネットワークガイドブック～茅ヶ崎寒川」の改訂版を作成した。			推進会議の開催	2回	1回	A	変動なし		●
3	保健所機能分析・評価及び運営のあり方に関する検討事業	1	0.46	一般	0 ----- 0	0 ----- 0	関係機関、庁内各課との調整や庁内関係課会議などを通し、保健所機能の分析・運営のあり方を検討し、新たな保健所庁舎整備における課題や基本的な考え方を整理することができた。			事業の進ちよく状況	保健所運営のあり方検討事項に基づき推進	保健所機能や施設の移転等に関し、県と協議を重ねた	S	変動なし		
4	石綿健康被害救済推進事業	2	0.12	一般	0 ----- 0	0 ----- 0	茅ヶ崎・寒川地区における石綿による健康被害を受けた方やその遺族の救済のため、救済制度の相談、説明及び申請受理を行った結果、患者または遺族の安心につながった。			相談回数	年5回	9回(相談人数4人)	S	変動なし		

5	禁煙サポート推進事業	1	0.24	一般	0	0	これからの時代を担う若い世代(児童・生徒・学生)へのアプローチが重要であることから例年は学校及びPTAに周知し、学校保健との連携を深め、事業のより効果的な展開を図っているが、今年度はコロナ禍で中止とした。	外部への普及啓発の回数	年5回	なし	Z	-	●	
6	医師臨床研修事業	3	0.24	一般	0	0	医師法に規定する医師臨床研修の協力施設として、臨床研修病院又は大学病院の依頼により、病院に勤務する研修医を受け入れ、「地域保健」研修を実施した結果、地域の公衆衛生向上の寄与につながった。(R2年度は書面開催)	医師臨床研修の受け入れ人数	年6人	年7人	S	変動なし		
7	保健師・管理栄養士等実習支援事業	3	0.40	一般	0	0	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い保健師学生3校6名の実習が中止となった。学生20名(保健師3校10、栄養士10)の受け入れ担当課では、口頭で丁寧に事業説明をし、時間短縮や人数制限等を行うなど、様々な工夫を凝らした結果、学生のレポート等からは保健所の役割を理解できたという結果を得られた。	学生実習の受け入れ人数	30人	20人	A	減少		
合計					R2予算(円)		599,000							
					R2決算(円)		396,440							

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)														
<p>保健企画課の令和2年度の事務事業のうち、政策的な事業は7事業である。政策的事業の評価結果は、実績のあった6事業のうち、「S」が3事業、「A」が3事業であり、概ね成果が上がったものと考えている。「新型インフルエンザ対策事業」については、例年予定している事業は行わなかったものの、新型コロナウイルス対応を行い、必要な対策を実践することができたため「A」評価とした。Z評価の「禁煙サポート推進事業」については、新型コロナウイルス感染症対応の影響で休止したものである。</p> <p>保健所の庶務担当課として、新型コロナウイルス感染症対策を側面から支える場面も多く、結果として当初予定していた事業が充分に実施できたとは言えないものの、施策目標である「あらゆる健康危機から地域住民を守る」の達成に向けた取組は行えたと評価している。</p> <p>職員の時間外は、総時間で1,045時間、一人当たりで209時間となっている。内訳は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の応援に関するものは、時間数で348時間(一人当たり69.6時間)、本来業務に関するものは、697時間(一人当たり139.4時間)である。本来業務に関するものについては、元年度に比較し17時間増加しているが、これは通常の勤務時間内にも新型コロナウイルスに係る業務への対応を多く行ったことによるものである。本来業務にない、煩雑な事務対応を迫られる状況ではあったが、これまでの働き方の見直し施策の推進や、事業廃止等による事務改善により、大幅な時間外の増加は防ぐことができたと考えている。3年度については、新型コロナウイルスワクチン接種に係る応援業務の影響が想定される。</p>														

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は-)	事務改善の内容
6	禁煙サポート推進事業	禁煙に関する事業を所内で複数課が所管していることから、今後は事業の所管課を統合するなどの検討が必要である。また、大人から子供まで幅広い事業対象になっていることから、若年層の小中高生にターゲットを絞り早めにアプローチするなど、取り組みの見直しが必要である。

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は-)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
2	糖尿病地域連携クリティカルパス推進事業	事業実施により地域連携パスの枠組みができたことや新型コロナウイルス感染症対応のための必要人員の確保などから、事業実施による効果などの検証を行い、事業休止または事業廃止を含めた今後のあり方について柔軟な検討を行う。